夕刊 磐城新聞
十月十九日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

常磐炭田に於ける炭鑛聚落の研究

（10） 山口彌一郎

平町は阿武隈山地東麓地方の一大核心で炭田に關係なくも當地方の核心聚落たる位置を有してゐたが、炭田の開發は一層その方面の核心たる特色を發揮するに至つた。その主要なる道線は濱街道の核心である事と常磐線の核心たる事及び磐越東線の終點たる事に於てであり、福島炭鑛、赤井炭鑛、古河炭鑛、磐城炭鑛、入山炭鑛等の經濟的、交通的、學術的、政治的、享樂的、核心を平町に求めてゐる

八、結論

常磐炭田に於ける炭鑛聚落の研究に就いて注意すべき點を要約すれば次の如くである。

一、日本の中心地に最も近き炭田地方として殊に東京市京濱工業地帶關東機業地帶甲府、長野方面の製糸業地帶を後背地として經濟地理的位置が優秀である　二、常磐線の開通が常磐田開發の主要な動機である　三、常磐炭田の炭層は阿武隈山地麓より東方に傾斜せる故採掘が東漸する傾向を有し、從つて炭鑛聚落の東漸性が起り、それが常磐炭田の發展を意味するが一方稼行の困難となり行きづまりともなる傾向をもつてゐる　四、人口は移動性に富む。これは出炭量と相關してゐるが、又季節的移動を示す所もある　五、人口の年齡構成は大都市形態である　六、炭鑛聚落は在來の他の聚落に影響を及ぼす　七、地下採掘に依る井水の涸渇は水道の設備を促し、其結果として地下水より得る飲料水の統制を受けてゐた聚落を離散せしめ、水道に依つて統制された聚落を生む傾向を來す　八、鑛地は在來の聚落に沒交渉に發生し、其附近に炭鑛聚落を發展せしむる　九、鑛聚落は直接採炭に關係する人々の聚落の外間接的な特殊景觀を持つ聚落の發達を促す。之等を總じて炭鑛聚落に包含せしめる。十一、石炭の集散の核心聚落とは必ずしも一致して發達するものではない。そして石炭の集散に關係なき地方的位置の核心が炭鑛聚落の核心となる事もある。終りに數年に亘る調査に當つて絶えず非常なる御援助を惜まれなかつた鄕土研究に熱心なる好間小學校吉川安松氏、內鄕第二小泉文好氏、湯本小學校正木榮氏、並びに多數の資料を與へられた炭鑛關係その他の諸氏に厚く感謝の意を表する

愛讀者懸賞抽籤

十、十一、十二月三ヶ月分の本紙購讀料領收書と引替に抽籤券一枚を呈上。以上三ヶ月分の前納には新舊讀者を問はず抽籤券卽時呈上

一、抽籤　明春一月四日
一、發表　同六日本紙上

賞品
テーブルゲーム　一面宛
一等特大形（一名）二等大形（二名）三等中形（三名）

若き農夫の歌

夏井　鵜沼深水

春陽を一杯に浴びて
土埃と油汗とに
まみれた、顏、額
血走る眼差し
細破れた帶、衣
此が俺達の生きんとする姿だ
銜ふとも、我が鋤
流せども、我が汗
毎日マエナスからマエナスへと
逆轉するみすぼらしい生活
それが俺達の理想の姿とは
唯が嘆き悲まざるや
永劫の神秘を宿る黒土
これが俺達の奮闘場だ。
投げ出す力强い一振りの鋤
碎けよ　黒土
此れが俺達のあたへられた天與
生への第一歩だ
惠まれた田園迸る火花だ
燃ゆる青春、鋤、鍬に
幾日となく續く肉彈戰だ

戯畫を抱む

角田宏正

老いさらぼいた枯息な感情に
光りと氣と水とをもたげ
尚ほ私は人生の戯畫に想を抱く、
夜と晝との交錯を糊の努力に押し包むで、明日の汗と油に双手をさしのべる
憤懣を默殺した哀しき發壞は、そのストリートの端役にゆがんだ苦笑をもらす
資本の重壓は高層と地階に餓と人の混迷を築き、夜の卷に獨專の亂双を振ふ
明日の命をもがき乍らおどり狂ふ、いぶせきものは
限定への桎梏に終生への轉用を、あえぎ乍らさても云ふ
戯畫は人生の爭壁
私は此の蒼きカムバスに必死の糊を光りと闇の差別なく
デスマクをふりたてぬりまくるであらむ。

車窓から

赤木しらほ

砂ぼこりの窓のまつかな雲
電柱の片面ばかりがかなり遠い山の麓まで續いてゐる
最後らしい何本目かの電柱には枝がないやうである
川には一個の舟の影も映さない
渡船には川の極く狹いところを利用するらしい
ところどころの兩側には白い薔薇の花が咲きみだれ
造花とは比較にならない匂を持つてゐる
こんなところにも風が吹いてゐるかと思はれる爐んだ村の存在を見る
こんな村には私等の知らない
ランプの淡い灯が戸毎に天井から吊り下げられてあるに違ひないと想像する
鷗のいない港を發見すると
列車は片方の窓に重量の大半をうばはれる
巨大なる波のうねり
さゞなみの如きもの、海のひゞきが眺望の中におふれてゐる
忘れられさうな海岸の驛
驛を幾つか數へてゆくと青色と赤色のかんてらの灯が
花火のやうに後方にあとかたもなくすべつてゆく

社會の今日

10月20日

△大本敎神殿取毀し（大正一〇）△東京地方豪雨坪當り二石六升四合（昭和五）△東京のバラ〜殺人事件八ヶ月振りに逮捕さる（同七）

○

汝の口は甘き李の如きも汝の手は荊棘の叢の如し　—トラガ

虫糸に殘る古葉や秋の霜　金櫻子

講談　幕末神風組（31）

土生太郎作　高根秀浩畫

救ひの手（六）

（何んて甘え奴だ！）

佐吉は、納屋の中から、染香と九平太の甘い場面をかしく見てゐた。あれだけ强惡ものらしい九平太も染香にかゝつてはもろにもろかつた

『あはゝゝゝ、朝ッぱらから飛んだお愛嬌だ、どれ、一つ氣分直しに一杯やると[illegible]やうか、染香、お前も來い！』

九平太は染香の手をとると、庭下駄を引きずるやうにして歸つて行つた

（馬鹿な奴だ、朝から酒を呑むとは……）

佐吉は、暗い納屋の片隅にうづくまつたまゝ考へてゐた

どうせない命とあきらめてはゐたのであるが、かうして、染香といふ思ひも寄らぬ救ひ手が現はれて、彼の考へ方はすつかり變つてしまつた

（俺は助からねばならぬ！誰が死ぬものか！生きるぞ！生きて娑婆に出るんだ、此の身体が自由にさへなれば文句はない、何だあんな腰抜け共の二十や三十）

佐吉は全身を奮激的な氣持ちが駈めぐるのを覺えた

それと同時に、過ぐる日八丁堀の銀月の歸るさ、京橋で、よしそれは醉つてゐたとは云へ、此の大事[illegible]體であり乍ら、あの無謀な振舞ひに出た事を悔いる氣持ちが湧いて來た

（だが、俺にはあの時後へ引き下がることが出來なかつたのだ。まさか神風組の御木本迄出馬するとは思はなかつたからな、で御木本が來ると聞いてまさか逃げ出すこともならず、たうとう捕はれてしまつたが、矢張り御木本は首領だけの事はある、日頃の私怨に驅られて藤七が俺を斬り殺さうとしたのを鶴の一聲、縛して此處へ擔ぎ込んで來たがどうもお氣の毒さ、此の佐吉奴はどんな責苦に逢ふとも一旦受け合つた事は骨が舍利になつても口を割るやうな男ではないからな、あはゝゝ、流石の奴等も業を煮やしたらしかつたな、だが奴等としても俺の前で奴等の秘密、榎本樣や淺野樣が幕府の軍艦を盗み出すのを知り、それを妨げる手段をしてゐるといふことを俺に毒づいて聞かせた以上俺を生かして置くつもりはなかつたであらう、それで俺もすつかり殺される、いや殺される前に絶食して死んで見せる覺悟を決めたのに、うまいところへ染香がやつて來てくれた、が、實際始めて染香が神風組の本陣へやつて來ようとは思はなかつたからなあ、然しいつどうして御木本に取り入つたのかなあ、男つて案外もろいものだが、女は曲者だわい、此の上は染香の手を借りて一刻も早く此處を逃れることだ。此の身さへ自由になれば…』

佐吉は固く縛しあげられた身体を身もだえすやうにした

と、その時、表に微かな足音、誰やらが忍び足で近付いてくる氣配だ、咄嗟に彼は

『うゝん、うん、うーむう』

如何にも苦しさうにうなり出した

『おい野郎、まだ苦しんでゐるらしいぜ』

それは先刻轉げるやうに逃げて行つた新公に辰公だ

『うんいゝ氣味』

『それにしても、姐御はなか〜凄いぢやないか、あれでは御木本の旦那が參るのも無理はねえ』

『さうとも、こちとらは怖くて怖くて側へも近寄れねえのに、物干竿でピシ〜やるんだからな』

『まつたくだ』

と話してゐる折しも

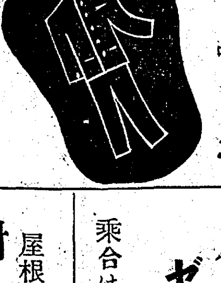
『ワハ、、、、、』

佐吉のずば拔けてかん高い笑ひ聲が、新公、辰公の膽を驚かせた

『ワアッ！助けてくれえッ！』

廣告

黒小倉通學服賣出



冬服の御用意をなさいましたか
弊店は御滿足の頂ける黒小倉服を澤山取揃へ特價にて御務めしております

小學生用（長ヅボン付）
A ……………… .90より
B ……………… 1.10より
特製品 ……… 2.50より
中學生用
特製品 ……… 3.50より
御註文特上 … 6.50より

ちかや洋服店　平二 電203

淋藥界の最高權威
無効返金（二日間服効なき時は殘藥引替に全部返金す）
岩里　りん病とうげ　別府淋藥
世界の名湯別府溫泉で名高い。岩里家の家傳祕藥は男女血ウミ、コシケ、淋病消渴に奇蹟的効果ありどんな頑固な麻疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。
一週間…赤箱ー金五圓　黒箱ー金參圓

別府皮膚藥　金三十錢　金五十錢
天下の名湯別府溫泉のラヂウム含有の精に各病醫院及最高學府の處方劑集め大成せる皮膚病特效藥であります、たむし、いんきん、みつむし、なます、しらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園　岩里天然堂
（特約店募集）
代理店　平町三丁目北裏通り　渡邊いと

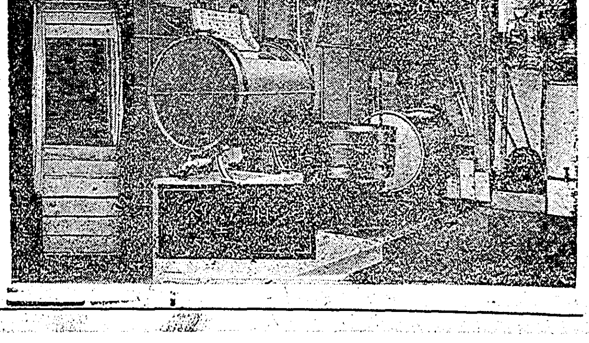
恐ろしい疫痢の流行期!!
○毎年六月始めより十月と申します。
○死亡率統計百人中六十五人以上として居ります。
まづ豫防に經口免疫の北里研究所製造疫痢內服ワクチンを
○價格　幼兒一人分 三十錢　大人一人分 五十錢
（文獻進呈）
特約店　西村屋藥局　平二・電3

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店　電話六一番
本店　水戸線下館驛前（電話五五番）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、マシン油、モビール油、機械油類、植物油、胡麻油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三）
常磐線關本驛前（電話八二四）
常磐線四倉驛前（電話平濱五四）（電話四八）
◇海上給油及油槽所　久慈濱、大津、平潟

貸切ノ御用命ハ
ゼヒ三井自動車部へ
電話六八五番
乘合は　好間…合戸…澤渡方面行

屋根材の大王（日の出 太陽印）便利瓦
耐久力優に二十ヶ年以上
壹坪葺上八十錢內外
日本建築紙工株式會社
磐城代理店
銘木　ベニヤ板　天井板　建具材　內外木材
建築材料ノ御用命ハ是非當店へ。
㊎織田材木商店　平町字紺屋町四○　電話四六○番

最新式ドライクリーニング機械
設備は平町に弊店一軒使用
良品は完全な設備ある工場より
インチキでは有りません眞實なる寫眞を御覽下さい



白榮舍ランドリ
平町藤田女學校前横

御華客樣本位の弊店で今回『ひな鳥水たき』『季節の松茸料理』を始めました。何卒御尊來御試食の程御待ち申して居ります。
ひな鳥水たき
季節の松茸料理
◎料理は毎日献立を替へて調理致します。
◎御宴會、出前は如何樣にも御相談に應じます。
平町字紺屋町
割烹　住吉屋本店
電話一五九番

赤井嶽藥師。二ッ箭山。桐ヶ岡山ノ神の御參詣。夏井川溪谷（東北の耶馬溪）の雪景。もみぢ。岩つゝじ。深綠、四季折々の遠足。遊覽絶好の御土産！……
…品質保險風味絶佳…
磐城土產
靈峰やうかん　金十錢　金二十錢
小川鄕驛前
發賣元　平屋賣店
平地方各商店にてお賣りして居り升

最高の品質
最底の價格……
◎サビナイ自轉車
富士宣傳號　五十八圓
オール號（全廻轉部鋼鐵製防水式）　四十圓
更生號實用車（總クローム、荷カケ、スタンド付）　二十五圓
定評ある
フタバ式リヤカー……奉仕特價提供……
富士自轉車指定販賣所
フタバ商會　平新川町、月見橋際

猛烈な加速度を以て貯炭を浚ふ需要の大波
興味深い十年前との比較

石炭の需要最盛期ともなれば鐵道貨車の配給が商況の推移に伴つて重要な事項となり各炭鑛は貨車の爭奪に大童となることに理由があつて大正十三年以來東京、仙臺兩鑛山監督局、東京鐵道局、水戸運輸事務所、常磐石炭鑛業會並に積出驛常磐線綴驛外關係五驛長立會の合同貯炭調査が常磐炭田關係各驛について毎年十月行はれてゐる。南北十里、綴驛から茨城縣高萩驛に至る巾員をもつて東方海中に十度の傾斜で延びてゐる、常磐大炭田はこの貯炭量調査によつて景氣の推移を判明出來る、常磐線關係各驛における今年度貯炭調査の結果は次の如く集計された調査初年度大正十三年の數字と對比すれば頗る興味深い數字的變革を知る

貯炭量（單位噸）

	今年	大正十三年
高萩	一、三二六	二六、〇四〇
南中郷	四、三〇三	一八、七一〇
磯原	八、九三一	二五、八〇三
勿來	二、九七五	七、二四七
植田	五〇〇	一、二四
湯本	六、一三三	七、八三四
綴	二、三三八	三、五六九
赤井	三〇〇	四、六二六
小川郷	九〇二	一五、四四四
計	三六、六五八	一三八、五二〇

過去十年間の數字は實に一〇一、九五二噸の開きを見せ貯炭量極度に減退した今年の常磐地方には降る樣な需要の大波が押し寄せてゐる實相を讀める

書方で勿來校入賞
郡下の師範記念展成績

本縣師範學校創立六十週年記念縣下兒童成績品展覽會は十八日より開催したが出陳の圖畫、書方、手工、裁縫の四科目中學校賞は昨報の第一、第三（圖畫）の外書方では勿來校が入つた個人賞左の如し

（手工）―內郷尋高高二國分ちよ子、佐々木貞子（裁縫手藝）―平第二高二堀江光子、伊達濟、內郷高二今泉きみ、小名濱尋四樋口すみ子、高一齊藤かね

個人受賞者

別項―展覽會に於て郡內關係の個人受賞者左の如し

（圖畫）―（神谷）中野昌訓荒川一郎（鹿島）遠藤正男（四倉）若松乙彥、石井白合子（平第一）新妻幸男、鹿島康弘）福島正、小坂隆通（平第二）藤實子、秋元きよ（平第三）松崎惣兵衛、荒四郎、白土のぶ子佐藤一（大野）木村保之（大浦）坂本豊、大樂すいの、三好利子（內郷）吉田利哉（好間）赤津友三郎（小名濱）菅波めい子、中村稔、江尻榮三郎

家具類値上
同業組合で決議

平二十五營業者よりなる平建具指物商組合では材料の昂騰から昨年十二月和洋家具類の二割値上げを行つたが愈々景氣好轉から再復材料の奔騰を來し此程の幹部會に於て再び二割增しを斷行した

X賞授與式
磐中X會

展入賞者五年林武義君外十九名の勝狀授與式は來る廿四日午後一時より同校講堂に於て擧行、終つて茶話會を開くと

縣下武道 出場選手決定
紅葉山で神技を發揮する 郡下代表顏ぶれ

來る廿二日福島市紅葉山武德殿で開催する武德會福島支部主催縣下劍柔道大會の郡下出場選手は左の如く決定必勝を期し目下猛練習中である

劍道―鈴木至郞（夏井）片寄半三郎（平）補欠桐原英純（平）　柔道―中根武雄（小名濱）高橋强（內郷）補欠椎根保英（平）　弓道―靑木淸太郎（夏井）土井謙次郎（湯本）補欠高田平八郞（平）

愈々晴の神宮へ
平商安島木田組勇躍

過般の縣下中等學校明治神宮豫選に見事優勝單複共に出場權を獲得した平商木田安島兩君は其後平倶根本氏外指導の下に猛練習を續けて來たが來る廿七日より三日間は東京板橋江古田コートに於ての全國中等學校單複試合、三十日より三日間は東京戸山學校に於ての府縣對抗試合が行はれるので愈々來る廿五日平發午後二時十五分で室原敎諭引率の下に晴の征途につくと

今明は晴れぬ
場合によつては暴風が ―さ物騷な天候打診

秋霖連日、之れでは白岩の茸狩りも、川前の觀楓も覺束ない、それ處か大事な收穫季に當面する農家の焦躁は眞に氣の毒な程である、一体この憂鬱は何時迄續くか、小名濱測候所では

―琉球石垣家の徵南に在る七一五ミリと云ふ颱風が北西に向つて發達しその副低氣壓が四國沖から支那東海の南部に起つてゐる爲關東、九州方面の雨となつた、この颱風が日本の近海を離れぬ間は恢復せぬ許りか北支那の高氣壓が方向を轉換して北東へでも出る事になれば可なりの時化が來るものと觀ねばならぬ云々、如何にも物騷な天候打診である

泥濘の本町筋へ 愈々砂利敷開始
目貫の受難地帶救はる

既報―本町筋の測溝工事に因る泥濘受難は各方面からの非難に鑑み關係區長、各商店では應急施設方を町當局に陳情中であつたが町では愈々昨十八日より一丁目及三丁目の最惡地から砂利敷詰めの應急工事を開始した

新設十會社
一月以降の登記數

本年一月以降去月末迄の新設會社合資四、合名三、株式三、合計十會社で昨年來より漸次增加を辿つて居るが中には合法的脫税の目的から法人に變更するのなぞも絶無とは云ひ難いらしく之を以て直に景氣を語る標準にはならぬ樣である

中央に進出して
卒業生賣込み運動 平商矢野校長近く上京

京濱、地元關係に就職依賴狀の發達を終つた平商では愈々矢野校長が陣頭に立つて直接交涉すべく來月十五日頃よりは一週間の豫定で東京、横濱方面歸路は水戸市に寄り十二月に入つてからは地元關係を始め仙臺方面に出張するが尙近く校長は就職依賴生を一堂に集め諸種打合せを行ふ事になつた

用便に出た八歲の女兒 邪淫の兇刄に傷けらる
局部と頸から出血して虫の息 入山で戰慄すべき凌辱傷害事件

湯本町字法海魚商靑柳鶴治（三八）妻よし（三五）が今曉二時頃便所に起きた處傍に寢てゐる筈の長女入山小學校一年生はな（八）さんの姿が見へず寢床も冷たくなつて居るので大騷ぎとなり附近を搜した結果同家より十數間離れた叢に鮮血に塗れ虫の息となつて倒れて居るのを發見、時を遷さず入山請願巡査派出所へ訴へ出で一方增山院長の手當を受けたが右頸部に長さ三寸の斬り傷あり、現場には兇行に用ゐたと覺しい血塗れナイフが落ちて居た、如何せん頗ろの重態で口も利けぬ爲加害者の人相その他一切判明せぬが局部に裂傷を負ふてゐる處から觀て同人が便所へ出た際痴漢の爲にさらはれて前記場所で劣情の犧牲となり發覺を防ぐ爲に兇刄を揮はれたものでは無いかと

靑年記者募集 二名

中學卒業程度の敎養ある者、履歴書郵送あれ、面會日通知す。

磐城新聞社

別天地の秋
平刑務所近況 現在收容十二名

平刑務所に於ける目下の收容數は總數十二名で中被（恐喝二、公私文書僞造行使詐欺一、竊盜恐喝一）勞役三、受刑者（竊盜三、贓物故買（二）で昨年同期に比し大差ないと

・・・・磐中準備試驗　明廿日より今學期の準備試驗を行ふ

地方人も參加して 壯絶な拳鬪試合
愈々明後廿一日に迫る

いはき新報主催の國際的拳鬪試合は愈々明後二十一日に迫つたが一行中のキッドダヤ（比）は先年來朝の際坂本、藤田兩選手を除き邦人選手を總甜めにした世界選手權の保持者であり、之れに向ふ藤田左傳氏は過般國技館の日佛拳鬪でブラットネルを屠り鐵人の異名を馳せた斯界の超花形選手である丈け當日の好試合は今から大衆の血を躍らせてゐる、因に右は學生の便を圖り晝間も行ふ筈であつたが兩雄にとつて各死力を悉す歷史的試合である丈け前後の關係を慮り遺憾乍ら夜間一回に變更したが地方關係として平町金華山、花澤行夫、小畑禮三郎、內郷村四倉の諸氏が飛び入りの快技を見せるので興味に一層拍車を加へてゐる

紅葉狩りの名で 急轉回の地元宴會
汽車賃利用の超珍名案

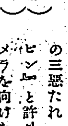
山の赤化！蓋し炭鑛地帶の思想を管轄する其筋のイデオロギーならずとも、山峽深く冷凍肌骨に砭りする水霜の洗禮を受けて滿山漸く紅の錦繡を織りなす川前溪谷の秋色、今やまさに濃やかならんする―の嬉しい便りに接した石城子たるもの、豈夫れチッとして居られうか、と云ふ事になる

不景氣の蒼白な鬼火に怯えてゐる人達は『二十二日の日曜は觀楓に相應しい赤口だ』なんて變な處へ理窟をつけて一つ大に川前の赤い處を見乍ら、些か古色蒼然たる文句ではあるが『林間に紅葉を焚いて酒を溫む』るの風流雅懷を遣らうと云ふ寸法だ。琥珀色した名釀の滿を引いて金時の火事見舞の樣になつたとてまさか高等刑事さんに跟かれないから安心と云ふもの

處が往復一圓近の汽車賃は岔もないから―『其れで安上りに飲んべ』なんて不了簡ものが出て來るので其れで無くも減收續きの鐵道が困るんだ、悟豚連中は早速公園の櫻もみぢで一寸間に合せる事に設計を變更し酒は持ち込み、藝者は纒頭抜き―と云ふ所謂33年式の紅葉狩りを遣る事になる

それでも最初の計劃は飽迄人間並の紅葉狩り乃至觀楓會なんだから憎めない、そして大体メンバーが揃つた處でさきの『此節汽車賃丈けあれば……』なんて妙案が最後の五分間に於て而も笑ひ顏一つせぬ悧功者によつて提案されて、とどの詰りが『成程それもそうだ第一汽車ん中は良いとして江田迄の往復が大變だ』なんて事になる

斯くして藝者ぬきの眞面目な川前行計劃は汽車賃を玉代に振り向ける案が滿場一致可決されて持ち込み酒の地元宴會と變る。平町の一廓にドクロを捲いて川前の紅葉見物、まさに33年式光景。



艶罪黒白

◇久本の久奴、若い者に似合はぬ信心家とあつて昨日も物見ヶ岡のお稻荷さんへ參詣の途すがらSのA、SのB、Nの三新聞記者にバッタリ出會つた◇此際一言なかるべからずの三惡たれ『イヨウ別ピン』と許り一齊にカメラを向けたから久奴大得意、乾板がはいつて居無いとは夢感づく筈なくニツと水谷八重子の商を見せたもんだ◇勿体振つてカチリツと最初からうつらぬスナップ、ショットを了つた三記者が噴き出し度い程の可笑しさをこらえてゐるとも知らずに石段の中程から頂上かちハンカチを振つて盛に最高の感謝を表情する。之を以て惡たれトリオ紹介了りつ◇またも三島家で黑房巧策摸張、金助れえさん（二十六歲）のお披露目、前姫地は新潟市、酒席よし珍席また惡からずとの評判、入らはい入らはい。○……○

古河對日立
來る廿二日庭球戰

古河炭鑛庭球部では來る廿二日午前十時より同村忽滑コートに於て日立鑛山七チームを迎へて一戰を交へるべく練習中である

第三區教育事務協議會
郡第三區教育

事務協議會は來る廿一日午後一時より平第二校講堂に於て開き會我校長退職による後任會長を決定、終つて同三時より公園ときわ亭に於て會我前會長及磐崎第一校長に榮轉の御厩校齊藤齊藤兩氏の送別會を催すと

運動會だより

。。。。內郷第二校　來る廿二日午前八時より同校鑛業公民學校同窓會と聯合の下に秋季運動會を催す

。。。。。第二區兒童競技　明廿日午前七時半より入山グラウンドに於て催される

四倉通信

漁港促進　四倉町有志は町の死活問題たる漁港問題を緩慢なる當局方針に委せて其の完成を望むは所謂百年河淸を待つに等しいと云ふので近く之が促進を目的とする運動同盟會を組織する事となつた、因に二萬五百圓の巨費を投じた問題の浚渫船は姑息の修理では到底使用に堪へないため船員全部一時下船する模樣であると

。。。。。弓道部發會式　武德會四倉分會弓道部發會式は來る廿二日同町公園內に於て開催さるが出席豫定八十餘名の盛會を見られて居る

金華山の旅から

金華山旅行團は豫定通り昨日正午金華山到着參拜石卷に寄港昨夜九時半鳴子に到着致候、例により一行大元氣到る處大當りに候、本日は鳴子より天下の勝景鳴子溪谷を徒步中山平に參拜

（千葉生外）

新	十月二十日	金曜
舊	九月二日	己未 佛滅 收 亢宿

諸判定總帥
東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

廣告

▲一白の人 甘き思案も浮かばず氣迷ひに終日を過す日▲二黑の人 器用に任せ餘分な小策をすれば失敗すべし▲三碧の人 他日に延引する仕事には取掛らぬがよろし▲四綠の人 理想通りに運ばぬ日目上に謀り獨斷を戒む▲五黃の人 工風才覺は失策の恐れあり自重するが安全▲六白の人 不熱心なるは上達容易ならず精勵すれば吉▲七赤の人 小を積みて大となり近きより遠きに及ぶ日▲八白の人 辛勞かひの生ずる日動土普請は差控ゆべし▲九紫の人 曇天に晴れ間を見る如き日追々良好となる

高久病院 院長 高久忠 平町田町 電五一三

增田耳鼻咽喉醫院 平町南町 電話四八二番

木村病院 平町新川町 電話一六四番

產婦人科 花柳病科 井阪醫院 午前宅診 午後往診 入院應需 平町田町（元合津醫院跡） 電話五五九番

秋のスポーツ御用命は大塚へ
新製品
◎小學生…指定運動會服裝 綾地實用筋入 シャツ四〇 パンツ四〇 一年ヨリ六年生マデ
◎ジャンバーとスエター 秋ヨリ冬ノ体操服トシテ最的品！
◎野球用グローブとバット 秋と冬のアンダーシャツ類 最新型……
田町の 大塚 製靴部 運動具部 電話七七番

美味で評判の十一屋の 支那そば 金十錢 なべやき 金十二錢
…出前は遠近に不拘迅速に配達…
電話三七三番に御用命を願ます。
平町四丁目郵便局向へ 十一屋 電話三七三番

毛糸
今年度新色全部入荷致しました。相變らず御引立の程を。
（色見本帳進呈）
合名會社 ハシモトヤ糸店 平町田町 電話十四番

生徒募集
磐城女子洋裁專門學院
奧樣方の爲め持に隨意科が設られてあります。
毎日定期に通學の出來ない方々の爲の回數券制度……
入學毎月初日
（此の際入學者は隨時入學を許可す）
ミシン無料貸與（材料は貸與の方法あり）
平町白銀町十五番地
（詳細…學則郵券二錢）

耳鼻咽喉科專門 山內醫院
平町田町七〇番地 醫學士 山內亨吉
入院隨意 病室完備
電話六九一番